

お話を聞いたアクティビティ

宮本麻里, センチネル高校/ウェストバンクーバー高校
Mari Miyamoto, Sentinel Secondary School/West Vancouver Secondary School

今回の共有会では、パンデミック後のオンライン授業で私が使用したお話と、その後の生徒の絵本プロジェクトについて発表した。紹介したクラスはほぼ非同期で、日本語のコース受講2年目の生徒を対象にしている。

まず、お話は Japanese and Korean TPRS Teachers という facebook グループ内でシェアされたゴリラのコロナくんを主人公とした三部作を使用した。すでに Google Slides の状態でシェアされていたので、そこに多少手を加え、更に Screencastify という Google Extension を使って私がスライドを見せながら読み聞かせたものを録画し、話を聞いて理解したい生徒にも対応できるようにした。

次に、その話の読解問題を Google Docs を使って作成した。話について生徒にオンライン上で質問する機会がなかったので、問題は英語で主要な内容が理解できているかを問うものを 10 問ほど出題した。Google Forms で問題を作成したこともあったが、少しのスペルミスなどで誤答となってしまいうことに生徒が不満だったようで、Google Docs での出題とした。

最後に、絵本プロジェクトとして、生徒は個人またはペアで動物が登場する絵本を作成した。使用するのは Google Slides か Storyjumper で、生徒が絵本を読んでいるのも録音して提出させた。Storyjumper はウェブ上に入っている絵も自分で描いた絵も使用することができ、また音楽や読み聞かせの録音も入れることができるので、楽しんで絵本を作成した生徒が多かったようだ。また、Google Classroom を使用していればクラスリストが Storyjumper にそのままコピーされるので、教師の側としても使い勝手がよかった。

質疑応答では、プロジェクトでの読み聞かせの録音ツールについてと、プロジェクトに要した日数についての質問が出た。2 分では答えられる質問に限られていたので Google Doc に追加で記入してもらおうよう伝えたが、他に質問はなかった。また、ディスカッションでは発表者 3 人が紹介したツールで自分が使用したのものと、他のおすすめツールについて Google Spreadsheet に記入してもらった。Storyjumper に関心を持ってくださった方が何人かいたり、発表したツール以外におすすめを書いてくださったグループもあったが、15 分ほど時間があつた割にはあまり意見が多くなかったようにも思う。

今後も今回のような Zoom での共有会が行われるのであれば、参加者からの質問への回答方法や、ディスカッション中のメモの取り方などを統一することで、発表者にも参加者にもわかりやすい形になるのではないかと思った。また、私個人としては自分の発表についてのアンケートなどを実施しなかったのが残念だった。しかしオンラインになったということで世界中から多くの方に参加していただくことができたという意味では実りあるイベントだったと思う。主催された CAJLE の担当者の方々に感謝したい。